

清水けんいち 市政レポート

政策討議資料

第4号

2008年4月

〈ご挨拶〉

あれから1年が過ぎようとしております。皆様の御支援御協力に感謝申し上げます。

深谷市議会議員として、日頃の議員活動を多くの市民の皆様へ御報告し開かれた政治にするため、市政レポート第4号を発刊させていただきました。これからも市民の皆様への御意見を聞かせていただき、住みやすい、暮らしやすい、子育てしやすい街・深谷市の実現に向け活動して参ります。

平成20年度が、皆様にとりまして、そして深谷市にとりまして素晴らしい年になりますよう、精一杯活動して参ります。今後とも皆様の御支援御協力をよろしくお願い申し上げます。

〈ご報告〉

深谷市議会 平成20年度第1回定例会3月議会が終了しました。

主な議案

- ・平成19年度 一般会計補正予算(第4号)
 - ・平成20年度 一般会計予算
 - ・平成20年度 国民健康保険特別会計予算
 - ・平成20年度 老人保健特別会計予算
 - ・平成20年度 後期高齢者医療特別会計予算
- その他にも重要な議案が審議されました。

〈深谷市平成20年度当初予算〉716億1,541万1千円

予算書のページ数は、一般会計・特別会計・企業会計合わせて515ページという膨大なものでした。この予算書をいただき中身をチェックしていく訳ですが紙ではなくデータで頂きたいものです。

その中身ですが、一般会計歳入では自主財源が60%を超える水準を維持しており、歳出は前年予算対比で104%となっております。大きなものとしては衛生費の147%、教育費の132%が目立ちます。衛生費が伸びているのは火葬施設建設費用(深丘園)によるもので、教育費の伸びは(仮称)教育研究所整備事業(平成21年建設予定)や市内29校の小中学校図書室にエアコンを設置する工事などによるものです。

深丘園建替え問題

この案件は、私が議員になる1年以上前から葬儀式場を併設するべきだと意見が出され、19年度には葬儀式場併設検討委員会が設置され議論が重ねられてきました、そして今議会に答申が出されました。その内容は「小規模葬儀式場の併設は必要ない」というものでした。

その答申を受け、市では葬儀式場を併設せず火葬施設のみ建設工事に着手することが決定し平成22年4月の供用開始を目途に動き出しました。

清水の提言



●今回の協議内容を見ますと葬儀式場の併設は「生活弱者救済」のためという議論が中心になり、結果、公平公正の観点から必要ないと決定しましたが、私は市民の皆様へのサービス向上の観点から議論すべきではなかったのかと考えます。交通手段、移動時間、経済性を考えても併設すべきと考えます。民間業者への圧迫という意見もありましたが、あくまで場所の提供のみとすれば式場を持ってない業者さんも利用でき新産業の創出にもつながり、結果、利用者へのサービス向上に繋がることでしょう。

火葬場利用開始後に、市民の皆様への御意見を伺いながら、もし必要があれば再検討していくべき課題ではと思います。

(仮称)教育研究所整備事業

教育研究所は現在、教育庁舎3階にあり、主に教育相談業務などを行っております。今回の整備は旧消防署跡地に建設を予定している物で、3階建てとし社会福祉協議会もこの建物に入り、ボランティアの方々の拠点ともするというもので、教育研究所の機能としては昨年末に認可が降りた教育特区(通級学級)事業のほか、

教員の皆様の研修機能を強化する目的で行われるというものです。

清水の提言



●教育は現場で行われていて、問題も現場で起こっております。現場主義の実践を望みますし、そこが一番大切なのではないのでしょうか、不登校の子どもたちの居場所作りは賛成ですが、しっかりとプログラムを作って部屋に閉じ込めるのではなく自然の中で、伸び伸びと安心して学べる環境作りを提言しています。

小中学校図書室にエアコン設置

清水の提言



●エアコンの設置ではありますが、全教室への設置ができないものでしょうか、地球温暖化の影響で夏の教室の温度は40度を超える日が何日もあります、子どもたちが学習する場の環境整備は重要と考えます。さいたま市では昨年全教室への設置が進められております。ランニングコストを深谷市当局は問題にしますが、エアコンを作動させる日は、そう何日もないのではと意見を述べさせていただきました。取付費用も深谷高校などではリース契約とし、その費用を抑えております。今年の夏も暑くなると予想されます、一日も早く実現できる様、今後も働きかけて参ります。

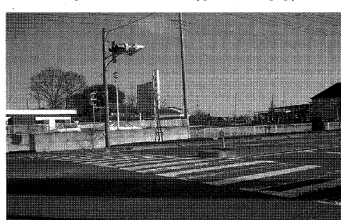
活動成果状況(主なもの)

・新「子ども110番の家」プレート作成

新深谷市となり「子ども110番の家」として、子どもたちの安全確保に協力いただいているお宅の数は3200軒以上となっておりますが、プレートの在庫が少なくなったというのと、合併前の各市町の協力団体の表示統一並びに今後の深谷市の子どもたちの安全確保の強化のため、新しく「子ども110番の家」プレートを2000枚作成しました。作成にあたっては教育委員会、深谷市自治会連合会、深谷警察署、寄居警察署、深谷市防犯協会、深谷市暴力排除推進協議会の御協力をいただきまして深谷市PTA連合会が主体となり作成することができました。

関係者の皆様に心より感謝申し上げますと共に、これからも子どもたちの安全確保に御協力をお願い申し上げます。

・140号バイパス(花園地内)の手押し信号・青信号



歩行者時間延長を行っていただきました。これは140号バイパス沿線に新店舗の建設が盛んになり、交通渋滞や周辺の交通環境が変化したのに伴い、手押し信号を利用する地元の方が多くなりましたが、青信号

歩行者時間が短くお年寄りなどは、中央分離帯で立ち往生してしまうこともありまして、危険だという事で、地元の老人会長さんの要望を受け、関係機関に要望書を提出し協議を重ねてきた結果、実現に至りました。しかし、バイパス沿線の

問題は、これで解決した訳ではありません、右折帯の問題や、道路側溝、横断歩道など、まだまだ整備が遅れておりますので、今3月議会、市政一般質問でも取り上げさせていただきます(裏面参照)



3月18日 清水健一の 一般質問と答弁(要約)

平成20年度第1回定例会市政一般質問、
今年度のトップは清水が行いました。

小善は大悪に似たり、 大善は非情に似たり



優しさを履き違え、些細なことと妥協をしたり、小さなことと見過ごしたりしていると、後に大きな悪に繋がる。

妥協を許さない、厳しい姿勢、強い愛を持って事に臨んでこそ、世のため、人のためになることができる。

経営の神様、松下幸之助翁や京セラの稲盛さんが、よく使われた言葉です。私自身への戒めの言葉とし、胸に刻んでおります。

皆さん、おはようございます。議席番号3

番、清水健一、発言通告に基づき質問させていただきます。

食育について

質問 市長の施政方針、そして総合振興計画でも前面に出されております「夢を育み 明日に飛翔する 笑顔都市 ふかや」の実現私達、人間はどんな時、笑顔になりますか？人はおいしいものを食べたとき、笑顔になると言われております。

国では、平成17年6月に「全ての国民が心身の健康を確保し、生涯にわたって生き生きと暮らすことができる様にと」食育基本法が成立し、それに沿って食育推進計画が策定されました。その中には都道府県・市町村は、それぞれ食育推進計画を策定するよう努めなくてはならないと記されております。その推進計画には、現在、冷凍餃子などで問題になっております食の安全はもとより、地産地消などの農業の活性化、今年度から始まる特定健診などのメタボリック症の問題、教育では、今年度策定された新学習指導要領の中にも、今までの教育の3本柱、知育・体育・徳育の基礎として食育をあてるとまで謳われておりますが、深谷市としての食育への考え、食育推進計画の策定について質問させていただきます。

答弁 現在、深谷市では保健センターが中心に食育推進事業を行っております。今後は埼玉県が2月に策定した埼玉県食育推進計画に沿って検討をし、早い時期での深谷市食育推進計画が策定できるよう努めて参ります

清水の 提言



●深谷市では、今まで食育は乳幼児や児童生徒を中心に捉え推進事業を行ってきたようではありますが、食育基本法或いは食育推進計画は国民全体を捉えたものであります。大きくは日本の食糧自給率の問題や凶悪事件の発生率にも食育は大きな影響を及ぼすと言われております。この食育は担当課だけに任せるのではなく市長を中心に市民の皆様と意見を出し合い、全庁的に取り組んでいくべきで、早急に食育推進計画策定検討委員会を立上げ計画策定を急ぐべきと提言させていただきました。

フィルムコミッションについて

質問 フィルムコミッションとは、映画やテレビドラマ、CMなどの、あらゆるジャンルのロケーション撮影を誘致し、実際のロケをスムーズに進めるための非営利公的機関のことで、世界41カ国307団体、埼玉県では産業労働部、文化振興課、新産業育成課、企業誘致推進室が中心になり進めており、県内には現在9つのフィルムコミッションが活動をしていて、深谷市ではNPO法人「深谷シネマ」さんが登録をし、活動されております。フィルムコミッションは、原則として非営利団体でなくてはなりません。日本国内では都道府県や市町村などの自治体、商工会議所や観光協会などの公的機関が事業を行っていて、地域の経済、観光振興、文化

振興、そして市のPRに大きな成果を上げているところでありますが今まで深谷で、どのような撮影が行われ、撮影の要請に対して、誰がどのように対応してきたのか、そして今後の体制整備について聞かせて下さい。

答弁 今までに、深谷で行われた撮影は、現在上映中の安田成美さんや由紀さおりさんが出演している「歓喜の歌」や、深谷の高校を卒業され深谷の高校生が多数出演している「たかひろや監督」の「はーもにか」堺 正章さんなどが出演している「夕風の街 桜の国」など多くの作品が撮影されました。対応としては深谷シネマの竹石さん、強瀬さん、中嶋さんを中心にボランティアの方々が対応していただいております。市としては商工振興課が協力をさせていただいておりますが、今後は秘書室とも連携をして全庁的に取り組んでまいります。

清水の 提言



●映像コンテンツ産業は、全体で11兆円規模で2010年には15兆円までにも成長するといわれています。深谷市の経済の発展、地域振興、文化振興、PRの観点からも力を入れていくべき事業と考えます。何より、お金を掛けずに大きな成果を上げることが出来る事業です。そして深谷から有名な映画監督や俳優さんが誕生する日も、夢ではありません。「夢を育む笑顔都市 ふかや」の実現にピッタリの事業と考えます。是非、力を入れていってください。

【ハブニング】

この時、議会傍聴に、この夏、深谷で映画を撮影し深谷で映画「傘」を作製されます。監督「たかひろや」さんが見えられていました。たか監督は、24歳という若さであります。この深谷を愛し、この深谷から日本中に深谷市をPRしていきたいという素晴らしい情熱を持たれた方です。映画に出演してくれるエキストラも深谷で募集することです。是非、応募してみてください。(時期がきたら「広報 ふかや」に掲載される予定です)

発展が予想される地域の整備について

質問 昔、江戸時代には、火災で亡くなる方が多く「風が吹けば、桶屋が儲かる」などと言われ、現代では、それをFF法と名付け、企業研修などに使われております。

先を予測して行動するというものですが、質問は、例えば花園140号バイパス沿線は、企業や店舗の建設ラッシュとなっており、交通渋滞などの影響や、お年寄りや子どもたちの交通弱者にも影響が出ておりますが、今後、市としてどのように整備していくのか、予想される発展への対応などは考えていないのか聞かせて下さい。

答弁 140号バイパスは、国道であります。県の管理となっておりますので県当局とも協議をし整備していきたいと考えております。今後の整備は財政状況を見ながら実施していきたいと思っております。

清水の 提言



●企業誘致は、深谷市の経済の発展、雇用の創出、税金の確保などを考えても、最も重要な課題であります。大きな企業がきたり、大きな店舗ができて良かったね！でも、道は混雑するし、子どもやお年寄りが危険になって困るというのでは本末転倒と思えます。予め、道路整備をしておくとか道路側溝の整備を行っておくとかしておくべきではと考えます。若しくは予測をしておいて、そうした事態には速やかに整備が出来る予算措置を取っておくべきではないでしょうか、これも全庁的にいき、強いリーダーシップが求められる問題です。早急な改善を提言させていただきました。

清水けんいち 市政報告会開催の御案内

下記の日程で、市政報告会を開催させていただきます。多くの市民の皆様は活動を報告し、深谷市への要望や御意見がいただければと思います。多くの方のご参加をお待ちしております。

5月17日(土) 午後6時より 花園就業センター(花園商工会2階)
5月31日(土) 午後6時より 小前田上集落センター

清水健一連絡先

〒369-1246 深谷市小前田2406-8
TEL 048-584-0717

FAX 048-584-0396

ホームページ: <http://www.shimizu-kenichi.jp> (ブログ公開中)

E-mail: info@shimizu-kenichi.jp



プロフィール

- 昭和36年1月27日生まれ (47才)
- 家族構成 父、妻、子供3人 (6人家族) 犬 (オス) 1匹 (名前シヨコラ)
- 埼玉県立熊谷工業高校 卒業
- 社団法人深谷青年会議所 第35代理事長
- 深谷市PTA連合会 会長
- 深谷市立花園小学校 PTA会長
- 埼玉県立深谷高校 PTA会長
- 深谷市子どもサポート市民会議 副会長
- 花園地区青少年健全育成会 副会長
- 花園商工会 青年部長

(◎は現職)